

これからの公園緑地のあり方
—長期未整備公園緑地について—

資 料

平成 1 8 年 1 1 月 2 0 日

名古屋市緑の審議会

名古屋市の公園緑地行政

(1) みどりの将来目標

名古屋市では平成13年3月に都市緑地保全法(現都市緑地法)に基づき、「名古屋市みどりの基本計画」を策定している。また、同時期に都市計画法に基づいて「名古屋市都市計画マスタープラン」を策定しており、その基本方針として下記のような目標をかかげている。

1. 市民生活の視点を大切に、市民・企業・行政の「協働」によって、「快適空間都市～花・水・緑なごや～」をつくります。
2. 将来の望ましい姿として、身近なみどりと都市の骨格となるみどりを育て、市域面積の30%をみどりにします。
3. 将来の望ましい姿として、みどりの拠点となる都市公園等の面積を1人当たり15㎡とします。当面平成22年度までに、1人当たり10㎡を目標とします。

(2) これまでの公園緑地事業

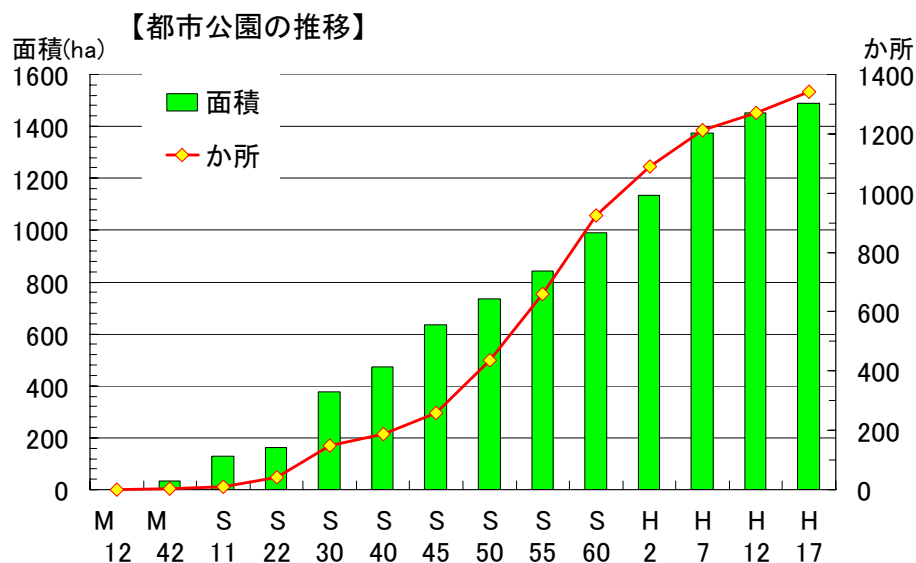
名古屋市の公園は、太政官布達により明治 12 年浪越公園(現在的那古野山公園)が愛知県により設置されたのが始まりである。明治 22 年の市政施行以後では、明治 42 年に鶴舞公園が設置されたのが最初である。

大正 12 年には、内務省令で準用された土地区画整理組合が設立され、昭和 18 年までに 100 組合、5,233ha の施行区域の中に、大正 15 年に計画決定された公園を包含し、東山公園、志賀公園、瑞穂公園、松葉公園、土古公園などの用地の一部の寄付を受けたほか、児童公園を 38.8ha 設置した。

一方、都市計画事業と

しての公園事業は昭和 12 年に認可を受けた第 19 号運動公園(現在の瑞穂公園)が最初であり、その後、稲永公園などの 10 公園が事業決定された。これらの事業の目的は、市民の体育向上や防空のための施設整備など、戦時体制を反映したものであった。戦後になると、復興土地区画整理事業の中で、被災した市街地の復興とともに公園の整備が図られ、215 箇所、140.8ha の公園が整備されたが、高度経済成長政策のもと、道路や下水道整備に公共投資の重点がおかれたため、昭和 30 年代までは都市計画公園緑地事業はやや停滞した。

また、昭和 30 年土地区画整理法が施行され、昭和 30 年代後半からは民間土地区画整理組合の設立が相次ぎ、昭和 40 年代から昭和 50 年代にかけては、土地区画整理組合から移管を受けた数多くの公園用地の整備に重点が移った。これは、昭和 47 年に都市公園等緊急整



備措置法が施行され、計画的な公園整備を促進することにより急激な都市化の中で悪化した環境の改善を図るため、早期かつ効率的な都市公園の設置を行ってきたことによるもので、現在までに 700 箇所、300ha を越える公園が整備されてきた。

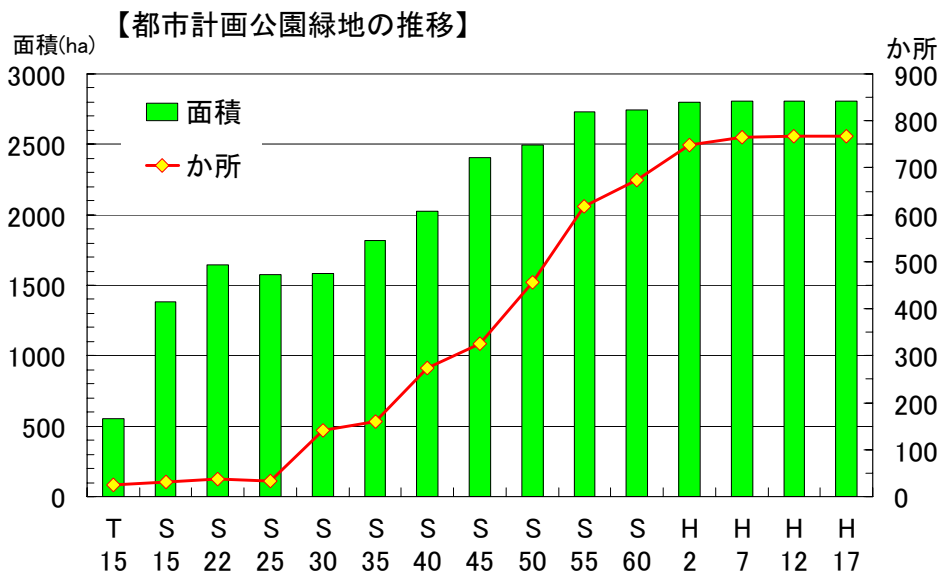
その後はバブル経済期の豊かな財政事情を背景に、都市計画公園緑地事業では平成元年から平成 6 年度にかけて、長期未整備公園緑地を中心に新規事業着手と事業区域の拡大が 16 公園緑地で行われ、平成 18 年 4 月現在では、23 公園緑地で展開しており、都市公園として供用は、1,355 箇所、1,511.29ha となっている。しかし、市民 1 人当たりの都市公園等面積は 9.24 m²であり、目標値である 15 m²にはまだ達していない。

(3) 公園緑地の都市計画

名古屋市の都市計画公園緑地は、大正 8 年の旧都市計画法の制定後、大正 15 年に市域の内外にわたって 24 箇所、面積 550ha の公園が計画決定されたものが最初である。この計画では、樹林地、名勝地の保全と同時に関東大震災時(T12)の公園の防災機能の重要性の教訓から適正な公園配置(約 2km の誘致距離)を考慮した計画となっており、こうした公園の都市計画としては全国初の試みであった。その後、戦時下の昭和 15 年に、防空を目的として市域を環状に取り囲むように 7 箇所、面積 826ha の緑地が計画決定された。

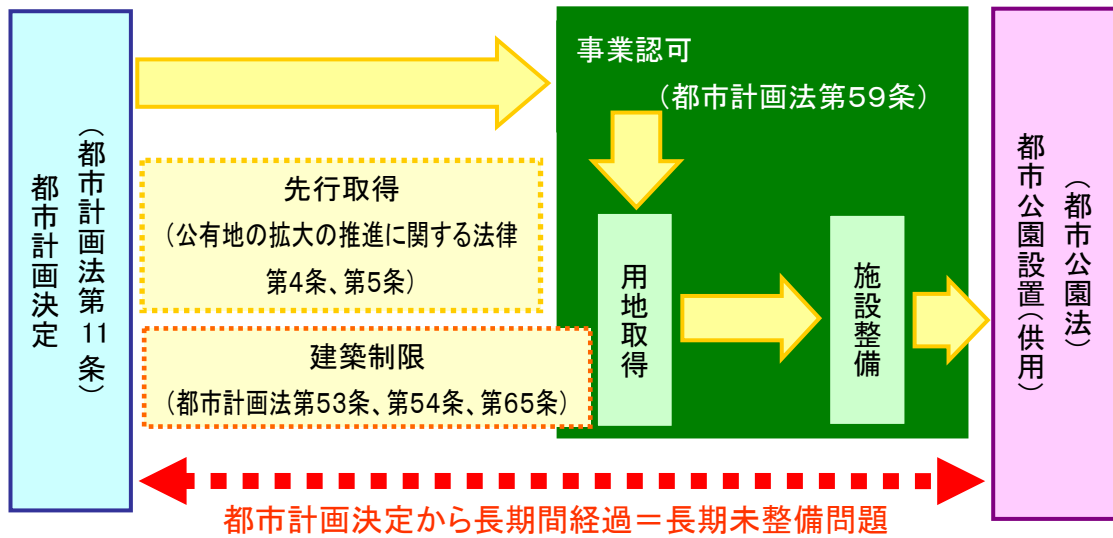
昭和 22 年には戦災復興計画の一環として、従来の公園計画(緑地は除く)を一旦廃止すると同時に、それをベースに都市構成上必要なものを追加して、新たな都市計画公園として 31 箇所、面積 880.65ha を都市計画決定した。昭和 33 年、40 年、41 年には市域の拡大を機に、従来の公園緑地の計画を全市的に見直し、現在の都市計画公園緑地の骨格が出来上がったといえる。

現在長期未整備となっている公園緑地の当初決定は、戦災復興計画(S22)時及び市域編入時に都市計画決定されたものがほとんどだが、昭和 22 年が当初決定となっている公園の多くは大正 15 年の決定を起源としており、大正 15 年の決定から 80 年近くの年月が過ぎたことになる。



昭和 40 年代以降は区画整理事業等により供出される公園の決定を中心に行っており、平成 17 年度現在、都市計画決定された公園緑地の合計は 768 箇所、2,808.93ha である。これに都市計画墓園及び都市計画決定されていない都市公園面積を合わせると、市民 1 人当たりの公園面積は 14.06 m²となり、将来目標である 15 m²もほぼ満たす計画となっている。

【都市計画公園緑地の整備の流れ】



【都市計画公園緑地の現況】

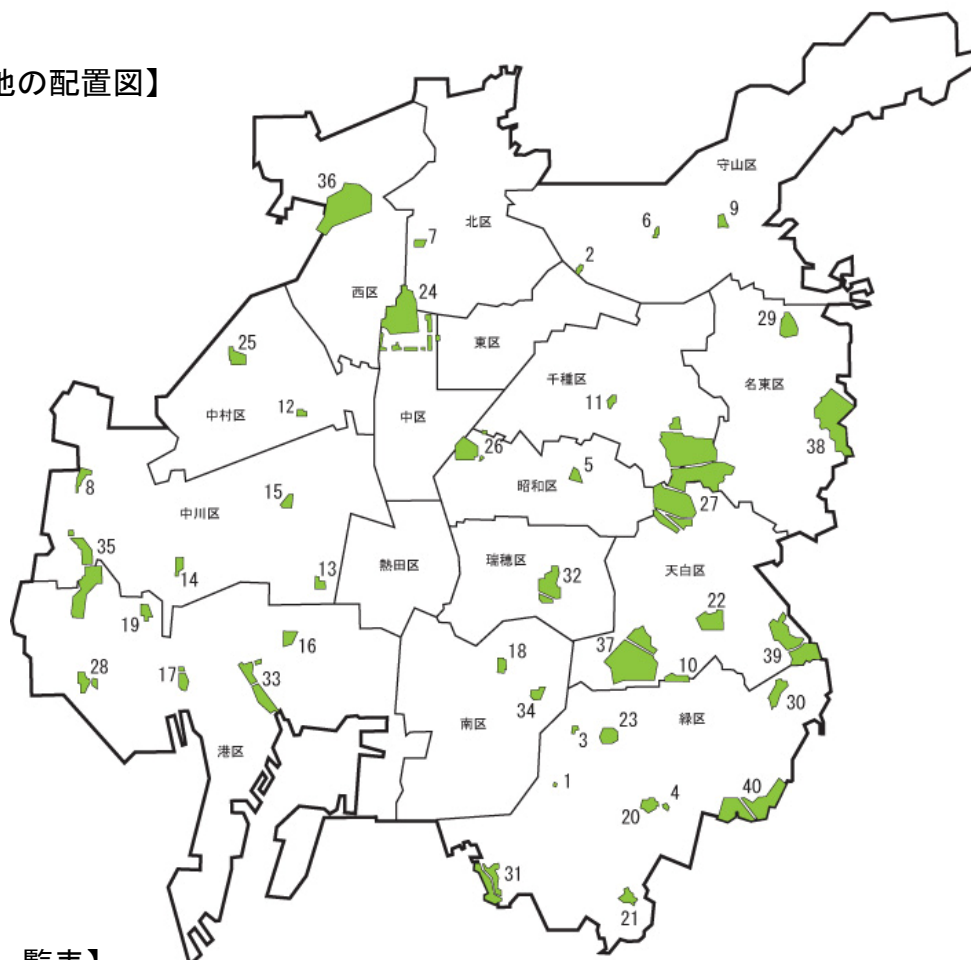
平成18年4月1日現在

		都市計画公園・緑地		左のうち供用済み		供用率(%)
		箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)	
公園	街区公園	613	178.24	595	172.74	96.9
	近隣公園	75	134.3	71	117.49	87.5
	地区公園	28	183.3	23	96.14	52.4
	総合公園	12	524.6	9	269.11	51.3
	運動公園	3	76.4	3	63.42	83.0
	特殊公園	7	61.3	5	49.25	80.3
	公園計	738	1,158.14	706	768.15	66.3
緑地		46	1,664.99	41	560.73	33.7
公園緑地 計		784	2,823.13	747	1,328.88	47.1

(注1) 都市計画公園緑地の面積は、庄内緑地13.6ha、名西橋緑地12.5ha、小幡緑地22.1haの計48.2haの市外分を含む。

(注2) 供用済みとは、計画決定された公園・緑地のうち、市内で都市公園として供用されているものをいい、県営の高蔵(0.98ha)、熱田(7.6ha)公園、牧野ヶ池(147.03ha)、小幡(54.37ha)、大高(99.89ha)緑地を含み、高蔵公園は県営・市営をあわせて1か所として計上している。

【長期未整備公園緑地の配置図】



【長期未整備公園緑地一覧表】

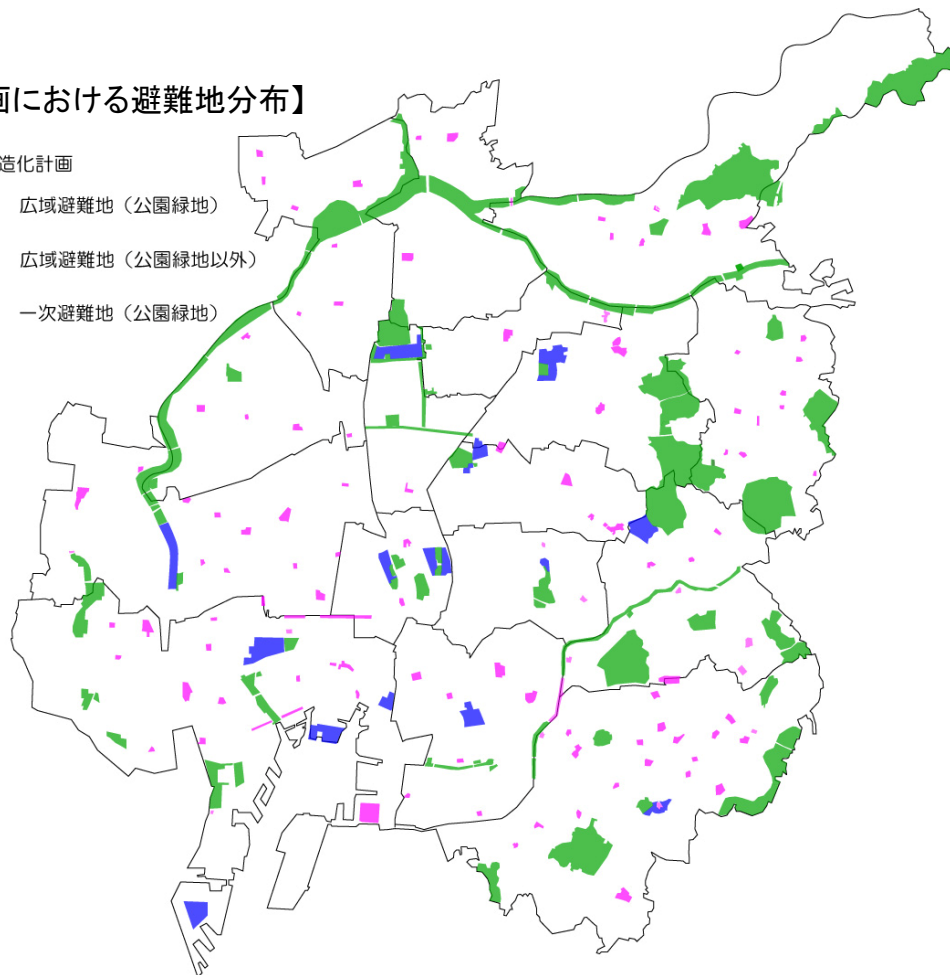
番号	種別	公園名	都計年月日	計画面積
1	街区	しおた 汐田公園	S33.3.14	0.12
2	街区	ほうしょうじ 宝勝寺公園	S40.1.27	0.92
3	近隣	せんくつか 千句塚公園	S40.1.27	2.0
4	近隣	なるみ 鳴海公園	S40.1.27	2.2
5	近隣	かわな 川名公園	S22.5.6	3.9
6	近隣	きたやしき 北屋敷公園	S40.1.27	2.0
7	地区	しが 志賀公園	S22.5.6	5.2
8	地区	ふた 富田公園	S33.2.15	8.9
9	地区	おおもり 大森公園	S40.1.27	5.5
10	地区	とがき 戸笠公園	S40.1.27	8.9
11	地区	しちやま 城山公園	S22.5.6	4.6
12	地区	こめの 米野公園	S22.5.6	4.7
13	地区	しょうわはし 昭和橋公園	S22.5.6	4.9
14	地区	まつかけ 松蔭公園	S22.5.6	5.4
15	地区	まつば 松葉公園	S22.5.6	5.6
16	地区	どんご 土古公園	S22.5.6	7.9
17	地区	たからうら 多加良浦公園	S22.5.6	8.5
18	地区	よびつぎ 呼続公園	S22.5.6	7.8
19	地区	せんとうば 船頭場公園	S33.2.15	8.7
20	地区	ほそね 細根公園	S40.1.27	9.9

番号	種別	公園名	都計年月日	計画面積
21	地区	おけはざま 桶狭間公園	S41.10.13	8.3
22	総合	てんぱく 天白公園	S33.2.15	26.5
23	総合	にいのみいけ 新海池公園	S33.3.14	15.2
24	総合	めいじょう 名城公園	S22.5.6	85.5
25	総合	なかむら 中村公園	S22.5.6	13.6
26	総合	つるま 鶴舞公園	S22.5.6	24.4
27	総合	ひがしやま 東山公園	S22.5.6	261.8
28	総合	しんちやがわ 新茶屋川公園	S33.2.15	12.0
29	総合	めいとく 明德公園	S33.2.15	21.2
30	総合	くまの 熊野公園	S40.1.27	16.5
31	総合	ひがみ 氷上公園	S53.5.24	26.1
32	運動	みずほ 瑞穂公園	S22.5.6	33.2
33	特殊	あらこがわ 荒子川公園	S54.3.23	29.6
34	特殊	かきでら 笠寺公園	S22.5.6	8.7
35	緑地	とだがわ 戸田川緑地	S33.2.15	59.6
36	緑地	しょうない 庄内緑地	S15.12.7	94.2
37	緑地	あいおいやま 相生山緑地	S15.12.7	123.7
38	緑地	いだか 猪高緑地	S33.2.15	66.2
39	緑地	あらいけ 荒池緑地	S33.2.15	60.4
40	緑地	ちよくしがいけ 勅使ヶ池緑地	S40.1.27	55.3

【都市防災構造化計画における避難地分布】

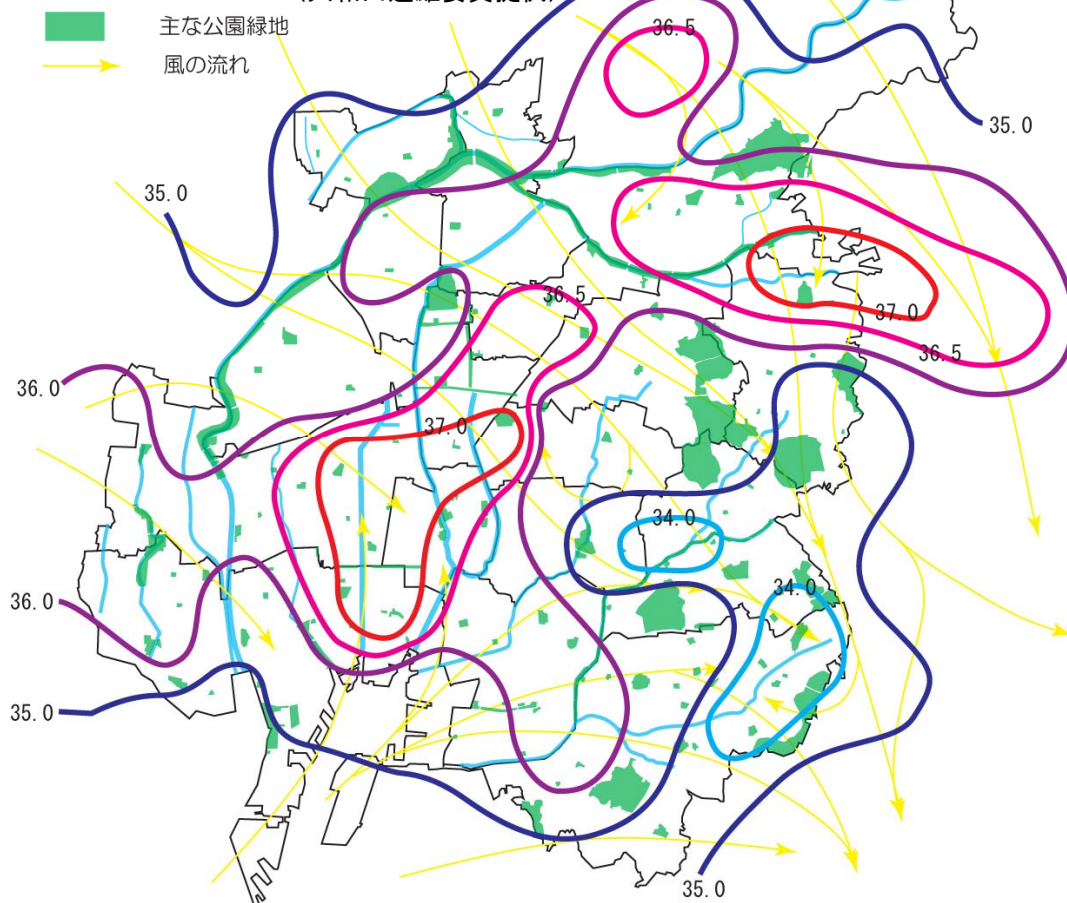
都市防災構造化計画

- 広域避難地（公園緑地）
- 広域避難地（公園緑地以外）
- 一次避難地（公園緑地）

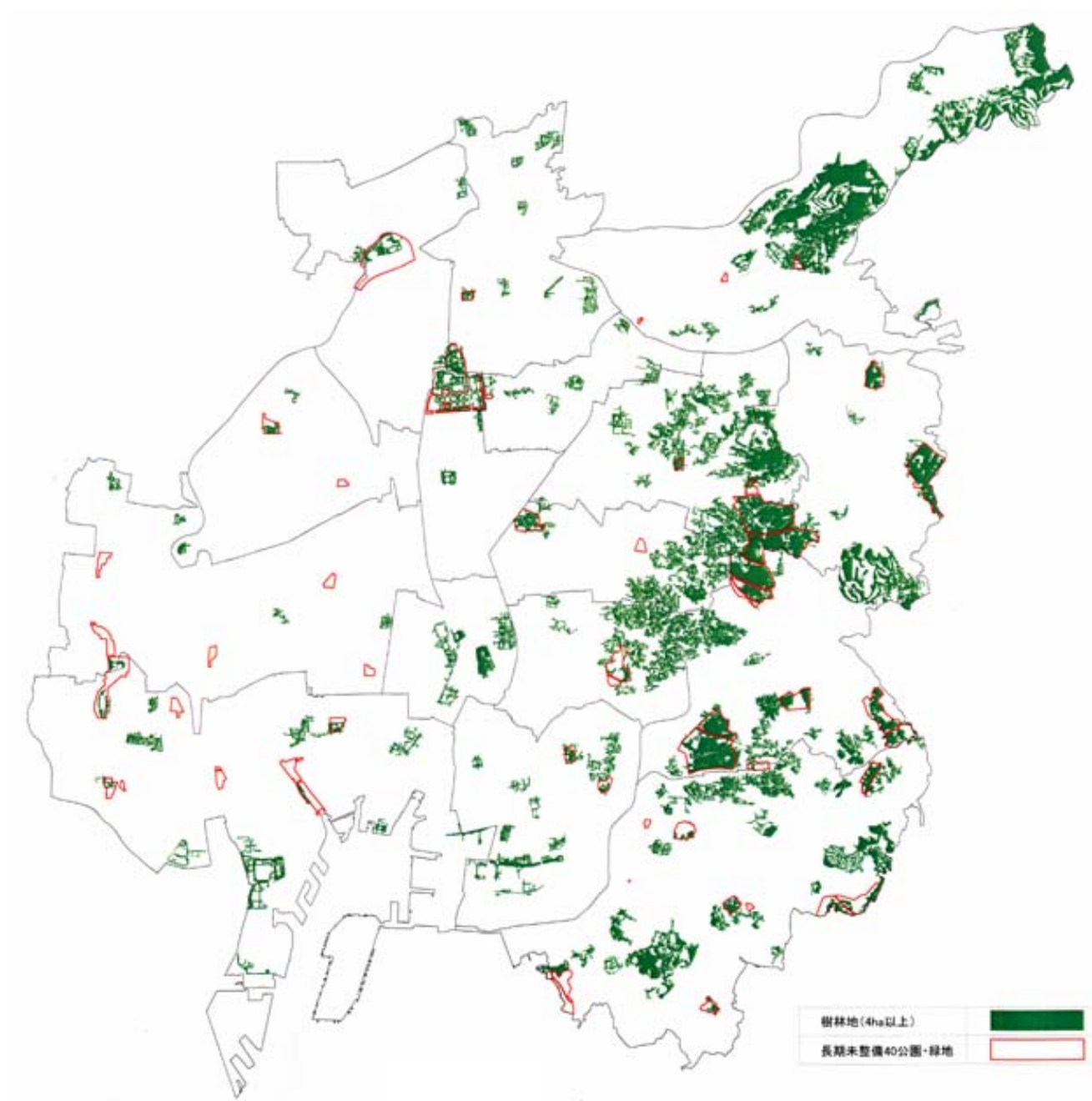


【平成 17 年 7 月 22 日 13 時 30 分における名古屋市の気温分布】

（大和田道雄委員提供）



【現況樹林地と長期未整備公園緑地】



長期未整備都市計画公園緑地内の文化財一覧

都市計画公園名	所在地	埋蔵文化財		左記以外の文化財	
		国指定	その他	国指定	市指定
千句塚公園	緑区		清水寺遺跡		
志賀公園	北区		志賀公園遺跡 志賀城跡		
天白公園	天白区		古窯		
瑞穂公園	瑞穂区	国史跡大曲輪 貝塚	瑞穂グランド遺跡 瑞穂2号墳		
名城公園	中区	国特別史跡名 古屋城跡	那古野城跡	国指定建造物 名古屋城、国 指定名勝名古 屋城二之丸庭 園等 国登録有形文 化財乃木倉庫	
中村公園	中村区		東宿 A 遺跡		
鶴舞公園	昭和区	国史跡八幡山 古墳	鶴舞小学校遺跡 聞天閣貝塚		市指定建造物 鶴舞公園噴水 塔等
庄内緑地	西区		中小田井遺跡		
宝勝寺公園	守山区		守山城跡		
城山公園	千種区		末森城跡 古窯		
呼続公園	南区		曾池遺跡 戸部町遺跡	国指定建造物 富部神社本殿	市指定建造物 富部神社祭文 殿等
桶狭間公園	緑区		古窯		

笠寺公園	南区		弥生町遺跡 桜田貝塚・貝塚町 遺跡 春日野町遺跡 見晴台遺跡		
東山公園	千種区		東山公園遺跡 古窯		
熊野公園	緑区		古窯		
氷上公園	緑区		西古根遺跡 大廻間池遺跡 定納山古窯群		
相生山緑地	天白区		古窯		
猪高緑地	名東区		古窯		
荒池緑地	天白区		古窯		
勅使ヶ池緑地	緑区		古窯		